

薬剤耐性菌

薬剤耐性菌は、1 つ以上のクラスの抗菌薬に耐性を示す細菌である。医療機関等では、多くの抗菌薬の使用が行われるため、特に注意が必要である。薬剤耐性菌の制御には、適切な感染対策の実施と、抗菌薬適正使用が必要である。

特に、手指衛生の遵守状況と薬剤耐性菌の拡散状況には、関連性が高いため、平時からの標準予防策の遵守ができていることが特に重要である。

1. 薬剤耐性菌の注意リスク

リスク		菌名
★★★★	①	CPE（カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌）
	②	VRE（バンコマイシン耐性腸球菌）
	③	MDRA（多剤耐性アシネトバクター）
	④	MDRP（多剤耐性緑膿菌）
★★★	⑤	Pre-MDRP（2 剤耐性緑膿菌）
	⑥	MRSA（メチシリン耐性黄色ブドウ球菌）
	⑦	CRE（カルバペネム耐性腸内細菌科細菌）
	⑧	ESBL 産生菌（基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ産生菌）

2. 薬剤耐性菌の検出状況の確認

ICTWeb®システムにて、毎日部署の薬剤耐性菌の新規検出状況を確認する。

1) 電子カルテ⇒iCTWeb



2) フロアマップ



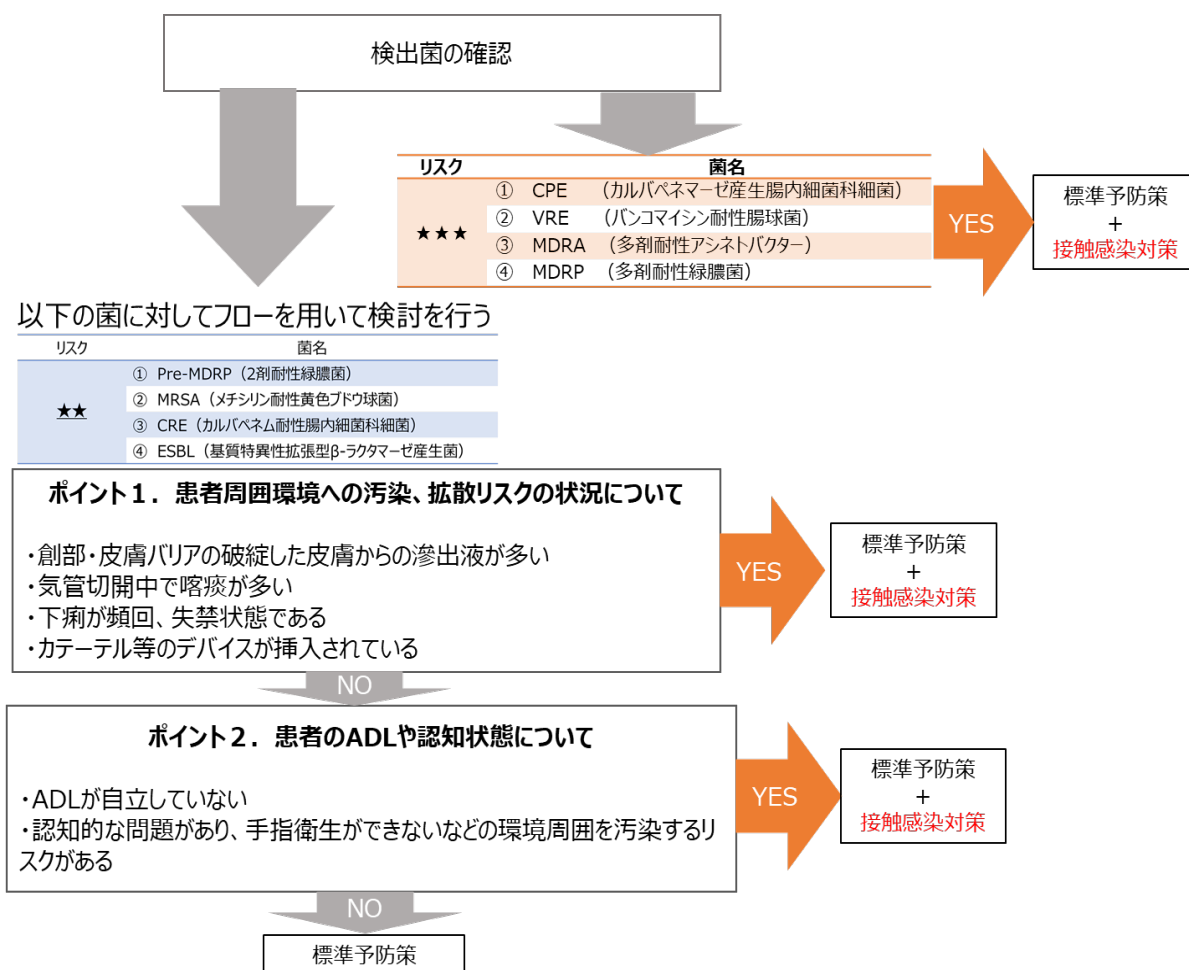
3) 新規検出菌はフラッグにて表示されている。



3. 病棟で薬剤耐性菌が検出された際の対応

- 1) 下記フローチャートに従って、感染対策についてアセスメントを行う。アセスメント結果は、記事にテンプレートにて記載する(B.隔離予防策Ⅱ.経路別感染対策の項参照)

病棟で薬剤耐性菌が検出された際の対応フローチャート



2) 経路別感染対策を追加した場合、対策の入力を行う

① 患者基本から感染情報のタブをクリック

The screenshot shows the 'Patient Basic' tab selected in the system. The patient's name is 'テスト 1' (Test 1). The 'Infection Information' tab is highlighted with a red box. The 'Infection Information' tab shows various infection control measures, including '隔離情報' (Isolation Information) and '経路別感染対策' (Path-specific Infection Control Measures).

② 隔離情報を入力すると、フロアマップに反映された経路別感染対策の色表示がされる。

The screenshot shows the 'Infection Information' screen with the '隔離情報' (Isolation Information) tab selected. The '隔離情報' tab shows various infection control measures, including '接触対策' (Contact Measures), '飛沫対策' (Droplet Measures), and '空気対策' (Air Measures). The 'フロアマップ' (Floor Map) screen shows the patient's location on the floor map, with the '経路別感染対策' (Path-specific Infection Control Measures) color-coded to match the '隔離情報' (Isolation Information) tab.

3) 対策の実施

B. 隔離予防策 II 経路別感染対策に準じる

薬剤耐性菌検出に関する説明とお願い

薬剤耐性菌とは

薬剤耐性菌とは、抗菌薬（抗生物質）に耐性を獲得した細菌のことをいいます。これらの細菌は通常の細菌と比べ病原性が高いというものではなく、健康な人では通常問題になることはほとんどありませんが、お年寄り、乳幼児、抵抗力の弱い方に対しては重い感染症を引き起こすことがあります。また、医療環境下では、これらの細菌が医療従事者や患者さんの手指に付着し、病院内に拡がり、院内感染の原因となることがあります。



当院では、最善の治療を行うとともに、院内感染を防ぐために以下のようなことを定めていますので、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

1. 職員の対応について

ケアや検温の際、エプロン、手袋、マスクなどを着用することがあります。医療従事者は、患者さんに触れる前、触れた後に流水と石鹸またはアルコールの入った手指消毒剤を用いて手洗いをします。

2. 手洗いについて

ご自身を感染から守るために、また他の方に感染を拡げないためにとっても重要です。食事の前後、鼻をかんだ後などは流水と石鹸で手を洗いましょう。また、必要な方には、アルコールの入った手指消毒剤を用いた手洗いの方法についてご説明します。



アルコール手指消毒剤

3. 病室について

- ☐ 個室に入ってください。
- ☐ 4人部屋で大丈夫ですが、細菌を拡げないためにアルコール手指消毒剤での手洗いをしっかり行ってください。
- ☐ 部屋から出るときはマスクを着用してください。

4. 排泄について

- ☐ 室内のトイレを使用してください。
- ☐ ポータブルトイレを設置していますので、使用後にご連絡をください。
- ☐ 病棟のトイレを使用していただきますが、使用後は手洗いを確実に行ってください。

5. 入浴について

- ☐ 入浴できる方は、看護師の指示に従ってください。
- ☐ 入浴できない方は、室内にて清拭や洗髪をさせていただきます。

6. 衣類の洗濯について

個人の洗濯物はビニールに入れて持ち帰り、自宅での洗濯をお願いします。通常の洗濯で問題ありません。

7. 面会について

面会される方は面会時に看護師に声をかけてください。
また、必要に応じて、マスク、エプロン、手袋を着用していただく場合があります。

その他、ご不明な点がございましたら、医師、看護師までお尋ねください。

年 月 日

説明者